



発行：社会福祉法人 心聖会
 広報委員会
 発行責任者：吉村 優児
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池393

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



新年のご挨拶

社会福祉法人 心聖会

理事長 白鳥征四朗

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中におきましては皆様から多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月には小池更生園が開設40周年の節目の年を迎え、これもひとえに皆様のご厚情とご支援の賜物と深く感謝し、重ねて御礼申し上げます。次第でございます。

温暖化・気候変動が進むなか、特に2019年秋に相次いで発生した台風・豪雨による甚大な被害に関する報告・資料等も踏まえ自然災害等に備えた整備を進めております。防災備蓄倉庫を2年ほど前に新設致しましたが、今月からは非常用自家発電機の設置工事が本年3月の完了予定で着工します。

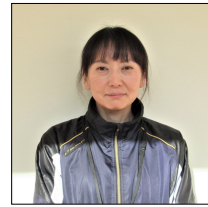
新型コロナウイルスが国内で確認されてから三年になります。新規の変異株が確認されると感染が拡大し、しばらくすると小康状態を繰り返す生活が続いております。加えて昨年来、国際情勢の不安定化による景気への打撃、電気・ガス・ガソリン・食料品等の高騰など至るところに、施設運営に影響を及ぼす懸念がございますが、見識を広げ、方策を講じてまいります。

末筆ながら、新しい年が素晴らしい一年になりますよう皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

小池更生園

課長 富田佳奈子



令和5年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、日頃より小池更生園の運営にご支援、ご指導をいただいている皆様により感謝申し上げます。

今年は「癸卯（みずのとう）」の年ということで「寒気が緩み萌芽を促す年」とされています。新型コロナウイルス感染症により事業所の活動はまだ自粛傾向にあります。この期間の出来事はご利用者にとっての「幸せ」「心地よい生活」「社会とのつながり」といったことを改めて考える貴重な契機にもなりました。昨年は小池更生園の40周年の節目の年でしたが、その歴史の節目を支えにこの自粛期間での経験を糧にして、「癸卯」の言葉の通り新しい芽を育んでいくよう努力していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

作山更生園

課長 筒井利光



新年おめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこと、お慶び申し上げます。

今年の年末年始は昨年より制限の少ない休暇期間となり、感染症対策は個人に求められる部分が多くなっているように思われます。このような世間の流れもありますが、作山更生園のご利用者には重症化リスクのある方も一緒に生活されているため制限をすべて緩和することは難しくなっています。

しかし、どんな状況下においてもご利用者の生活が豊かになるよう工夫を凝らし、制限緩和に向けた段階的な取り組みを行いながら、職員、ご利用者が一緒に笑顔で過ごせる時間を多く持てるように進めて参ります。そして、事業所全体が成長できる一年にしていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

こいけ障害者支援センター

係長 福田政紀



謹んで新春のお喜びを申し上げます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

今年度は開所して5周年を迎えました。23名のご利用者からスタートして、現在、契約者数は定員の40名となりました。5年間を振り返り、強く感じていることの一つは、ご利用者の成長です。感情をコントロールすることが苦手で、気持ちの高まりを他者に向けてしまうAさんは、折り合いをつけることや、声掛けに耳を傾ける様子が見られるようになりました。もう一つは、感謝です。ここまで無事に事業を継続できているのは、ご利用者、ご家族、地域の方々、関係機関など多くの支えがあったからだ。感謝の念に堪えません。ご利用者の成長とともに、事業所も発展していきけるように、職員一同、日々精進して参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ケアサポート笑和輪

係長 阿部直子



謹んで新年のお喜びを申し上げます。新年を迎えるにあたり、日頃より相談支援事業所

ケアサポート笑和輪に対してご理解とご支援を賜り、改めて心より御礼申し上げます。八千代市では昨年10月より『地域生活支援拠点等事業』が開始されました。この事業は、障害児者の方々の重度化・高齢化や親亡き後を見据えて、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、地域の実情に合わせて地域全体で支えるサービステキ体制を作っていく事業です。現在5つの機能のうち、『相談』・『緊急時の受入れ・対応』の2つの機能を優先的に整えています。新しく開始した事業についてだけでなく、地域の皆さんの身近な相談窓口として、安心感や充実感を提供できるよう、新たな気持ちで真摯に向き合っていく所存です。今後も変わらぬご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

小池更生園便り

年末のお楽しみイベント・・・



みんなで記念撮影「年の瀬の思い出」

令和4年12月17日に、こいけフェスティバル2022を開催致しました。

本来であればご家族をお招きし、盛大に行うところですが、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小し、ご利用者、職員のみでのイベントとなりました。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、様々な行事の自粛をやむを得ず受け入れないといけない状況下にあります。しかし、その中でもご利用者に

楽しい時間を過ごしていただきたく、職員一同準備を進め、無事に当日を迎えることができました。

当日は催し物、お食事、おやつなどご利用者にとって楽しいことが盛りだくさんの時間ををご用意致しました。

催し物では新任職員4名による自己紹介とお芝居の披露をしています。自己紹介では1人1人が元氣よく自己アピールし、ご利用者に顔と名前を覚えていただくために頑張っていました！その後披露したお芝居ではさすが同期入職！！息ぴったりでハイレベルなコント？漫才？お芝居（笑）を披露し、観覧して



職員出し物は、大盛り上がり！

いたご利用者からの笑い声と拍手に包まれました。

楽しいお芝居の後は待ちに待った昼食。とんかつ弁当、バーグかつ弁当、焼肉からあげ弁当の中から好きなお弁当を選ぶことができ、ご利用者からは「すごく美味しかった」「全部食べた」と大好評でした。

イベントと言えはおやつはケーキ、ということで、今回はショートケーキとキャラメルロールの2種類から選んでいただきました。とても美味しそうなケーキを前に、ご利用者の皆さんの目が輝き、とても良い表情をみせてくださいました。



ケーキのお味はいかがでしたか？（笑顔）

1日を通してご利用者の笑顔がたくさん見れて、素晴らしいこいけフェスティバル2022を開催することができました。



職員出し物に大きな声援で参加！



やっぱりイベントには皆さん笑顔です

歌って、食べて、笑う！

本日限り、
コイケマート開業

9月15日（木）に室内第2班の作業班遠足を行いました。新型コロナウイルスの影響から、外出の機会やイベントが減ってしまい、我慢も多い生活が続いています。少しでもご利用者の皆さんに楽しんでいただけるように準備を進めてまいりました。ご利用者から「歌を歌いたい」「たくさん食べたい」と作業班遠足に関しての希望の声も聞かれ、「歌う。食べる。笑う。」自分らしく生き生きと「をスローガンに掲げました。

午前の部は、こいけのど自慢と題し、演目順に1人ずつマイクを握ります。十八番の歌の披露はもちろん、ダンスの披露、歌唱中のご利用者へ手拍子を送ったりする姿も見られ、大いに盛り上がりしました。

お昼はパスタとパンのセットにケーキ。室内第2班ではお寿司が恒例でしたが、今年度はアンケートの結果、この洋食スペシャルセットに決定し、皆さん大満足な様子でした。

午後の部は買い物レクリエーションとしてこいけマートが開店。どこか見覚えのあるロゴのお店には沢山のお菓子。実際の買い物しながら、どのお菓子にするか悩んだり、店員役で参加しているご利用者は「いらっしやいませ」と元氣良く接客をしていました。

園内での実施となりましたが、たくさん笑顔を見ることが出来ました。これからも楽しんで頂けるようなイベントを企画していきたいと思えます。



大満足の日でした

海外には行けないけれど…

おいしいごはんの前に
体を動かそう

11月17日（木）、室内第1班日帰り遠足を行いました。午前の部は、外歩行・映画鑑賞・園庭運動の3つの企画を用意し、その中から好きな活動に参加していただきました。当日は天気にも恵まれ、青空のもと、体をたくさん動かしたり、ゆっくりと映画鑑賞をしたり、好きな活動をして過ごすことができました。

目いっぱい楽しんだ後は一番楽しみにしている昼食です。今回は和食・洋食のメニューから選びます。色々なおかずが入って普段より少し豪華なお弁当に皆さん目がキラキラ。大満足な様子でした。

美味しい昼食でお腹が満たされた後は、マイクロバスに乗り、成田方面へドライブです。感染



飛行機見えるかな？

症対策のため、思うように外出が叶わない事もあり、久しぶりのドライブでは皆さん車窓からの景色に釘付けでした。ドライブの途中、トイレ休憩を兼ねて成田市にあるさくらの山公園に寄り、公園内を散策しました。公園からは成田空港の滑走路を走り、今から外国へ飛び立つ飛行機を見ることができ、ご利用者の中には、嬉しそうに「飛行機！」と職員に伝えて下さる方もいらっしやいました。

帰りの車中では、程よいバス内の温度と心地よい揺れで、とうとうと眠られる方や景色を見る方など、それぞれの時間を過ごしているうちにあっという間に園に到着。いつもとはちょっと違う特別な時間を皆さんと楽しむことができました。

作山更生園便り

～待ちに待った！秋祭り～

秋晴れとなった令和4年11月18日、毎年の恒例行事となっている「秋祭り」が開催されました。夏には新型コロナウイルスの第七波を経験し、ここ作山更生園でも9月上旬まで療養期間となりました。そのため、ご利用者の皆様にとっては、久しぶりに羽を伸ばして思う存分楽しむことができた一日となりました。

秋祭りは午前・午後の二部構成で催しました。園内各所で行われているゲームコーナーを巡るスタンプラリーを午前に、昼食でお腹を満たしてから午後には、アート製作を行いました。ご利用者の皆様の期待に応えられるよう、会場の飾り付けや食事のメニューなど職員が準備を進め、開催しました。



いざ、ルール説明！

～スタンプを探して～



スタンプ沢山集まりました！

午前に開催されたスタンプラリーは、「お菓子ひも引き」「宝探し」などの多くのゲームにチャレンジし、クリアすることでもらえるスタンプを集めるという企画でした。スタンプが貯まると景品と交換できることから、多くのご利用者が楽しんで参加されていました。

スタンプシートが配布されると、最初に巡るゲームの内容を職員に尋ねたり、笑顔で話しながら会場へ向かうご利用者の姿も多く見受けられるなど、例年以上の活気を感じることができました。参加した全員が、すべてのゲームに挑戦してスタンプを集めることができ、景品のメダルやお菓子を手にして笑顔で午前の部を締めくくることができました。

～手形が集まると～

午後は全員集合してのアート製作です。絵の具を使用してカラフルな手形をつくり、それをあつめて全員でひとつの作品を作り上げます。手にぬりぬり、紙にぺたっ！と楽しんでいううちに手やお顔も絵の具だらけに！普段とは少し違う、自分の身体の一部を使った製作活動を夢中になって楽しんでいました。ツリーを模した型紙の周囲にカラフルな手形が集まることで、ひとつの大きな樹を完成することができました。

秋祭りは、引き続き感染対策が必要とされる中での開催でしたが、工夫をこらした企画でご利用者の皆様に楽しんでいただけた一日になりました。来年も安全と楽しさを両立できるよう尽力します。



彩り豊かなツリーが完成！

～権利擁護の取り組み～

作山更生園ではご利用者の尊厳を保持しながら安定した生活が送ることができるよう、権利擁護を基本に置いた支援体制を構築を目的とした「権利擁護推進委員会」を設置しています。

ご利用者の権利を守るためにも適切な学びの場を設けることはとても重要で、今年度は委員会の担当者が3回の研修を企画、実践することで権利擁護に関わる実施や体制の整備・充実に推進することができています。

ご利用の行動にどんな意味が隠されているのか理解するには、丁寧な関わりや繰り返し返しの学びが大切だと感じます。権利擁護に関しての知識と意識を身に付け、サービスの質の向上を目指して着実かつ実践的な研修を今後も行っていく予定です。



研修の一コマです♪

こいけ障害者 支援センター便り

力を合わせて

今回は「社会参加を通じて豊かな人間性が育めるよう支援します」という当事業所の目標に一步でも近づけるように、今年度から始めた新しい取り組みをご紹介します。

バザー用品作成作業では、ハーパーウムキャンドルやスノードーム等、季節を感じられる作品を、ご利用者と職員が協力して楽しみながら作成しています。出来上がった作品は、イベントやバ



(上)スノードーム作り

(左下)地域清掃、(右下)ダンスタイム



を同時に披露し合いました。新しい活動に取り組むことはとてもエネルギーが必要ですが、ご利用者と職員全員で力を合わせて、これから目標に向かって邁進していきます。

ザー等で展示、販売しています。近隣地域清掃では、市役所から配布された「ボランティア袋（ゴミ袋）」を使用して、近隣地域の清掃活動を定期的に行っています。またアダプト制度のもとで活動している近隣公園の清掃風景が、日本知的障害者福祉協会が発行している、知的障害福祉に携わる支援者の専門誌『さぽーと』で紹介されました。オリジナルTシャツ制作では、真っ白なTシャツのキャンバスを個性豊かな絵や柄で彩り、思いの作品を作り上げていました。完成したTシャツは、センター忘年会のダンスタイムの時に皆で着用して、踊りと作品

法人だより

寄附のお礼

・スーパータイヨー様
・田中 美帆様



新任職員のお知らせ

- ①名前②出身地③好きな言葉
- ④ひとこと

〈作山更生園〉



- ①森田 珠 (もりた めぐみ)
- ②神奈川県横浜市
- ③温故知新
- ④ほぼ未経験ですがよろしく願います



編集後記

今年度も感染症が流行する中での大晦日、正月となりました。感染症もさることながら、昨年はさまざまな出来事がありました。ワールドカップに円安、記録的大雪や成人年齢の引き下げ、日本の探査機「はやぶさ2」の帰還など、ここでは語り尽くせないほどに。

すっかり感染症と同居した時代ですが、JALハワイ線・アジア線では、予約が前年比10倍になったそうです。感染症対策を万全にして、帰省した方もいらっしゃることでしょう。当法人でも適切な対策を講じた上で、ご利用者といろいろな余暇を楽しんでいます。バーベキューや房総のむらへのバス外出、新年のイベント。それぞれの事業所内で、楽しんでもらえたと思います。また、コロナウイルスに対する事業継続計画の作成により、いざ感染者が発生した時の対策も万全にしています。次号も、皆様に読んで頂けると幸いです。今年も広報こいけを宜しくお願い致します。